

成長を実感しながら楽しむ日本での留学生活

TRAN THI MY HANG

社会福祉学科 2 年生

2018 年 3 月に、ベトナムの小さな町に生まれ育った私はやっと日本にきました。その時、ちょっと肌寒い感じがしましたが、学校までのバスから見た美しい桜の景色や先生方のもてなしが私を迎えてくれて心が温まりました。これから私の人生は新しいページに入り、「お金や時間を無駄にしないように充実した留学生生活を過ごそう」と心がけました。

中部学院大学留学生別科に入学して、思ったより日本語の勉強とアルバイトを両立することが難しかったです。例えば、アルバイト先は介護施設で、日本語があまり話せない私は方言をよく使っているお爺さんとお婆さんと接する時には、日本語があまり通じなくまごまごしていました。また、日本人と比べてベトナム人の私たちの歩くスピードはまだ遅くて、のんびり過ごすことが多い気がしています。そのため入学したばかりの時に、ベトナム人留学生の私たちは厳しいながら親切な担当の先生に「早く、早く…」とよく注意されていました。今でも頭の中に担当の先生の声が浮かんできます。

3, 4 か月が経って日本の留学生活によりやく慣れてきて、忙しい毎日ですが、楽しいです。学校で授業を受けるだけでなく、遠足やコンサートに行ったり、茶道などの日本文化を体験することもできました。中でも私が一番印象に残っていることは 2018 年 10 月に関キャンパスの大学祭に参加したことです。中部学院大学に在学しているベトナム人の先輩たちと協力して、「アオザイ」というベトナムの伝統的な服装の試着を行ったり、自慢の「揚げ春巻き」を販売しました。最初は「皆、ベトナムのことに興味があるかな」とちょっと心配しましたが、思ったより多くの人に来てくれて、本当に嬉しかったです。

一年後、日本語課程が終了して介護福祉士学科へ進学しました。クラスに留学生だけではなく、日本人もたくさんいます。日本に留学して、色々な人に出会えたことが何より良かったと思っています。卒業するまで、残り少しの時間も積極的に行動し、もっともっと意味のある留学生活にしたいです。日本にいる時間は私にとって、青春時代の中で一番美しく、一生忘れがたいメモリだと思っています。

最後に、初めて外国に留学し、何も知らない私が前より落ち着いて、成長できたのは先生方の教えや応援があったからです。私はいつも皆様の親切な姿に感謝の気持ちでいっぱいです。